

平成25年度第1回（通算3回目）  
福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会  
開催報告書

- 1 日時 平成25年4月3日（水）8時30分～17時30分
- 2 場所 福島第一原子力発電所
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり  
(1)廃炉安全監視協議会構成員（専門委員、県生活環境部、関係市町村）  
(2)説明者 東京電力(株)

4 調査行程 別紙現地調査スケジュールのとおり

●免震重要棟

- 停電トラブルの原因と再発防止対策について
- 県の申し入れ（3月28日）に対する対応状況について

●現地調査

- 仮設3／4号 M／C（A）
- 共用プール 仮設P／C
- 4号機使用済燃料プール代替冷却設備
- プロセス建屋 常用M／C
- プロセス建屋 後備M／C
- 1・2号使用済燃料プール 電源切替盤
- 仮設ディーゼル発電機
- 乾式キャスク仮保管設備
- 多核種除去設備（ホット試験）
- 遮水壁の設置（工事中）

5 調査結果

●免震重要棟

- 停電トラブルの原因と再発防止対策について
- 県の申し入れ（3月28日）に対する対応状況について
  - ・ 停電事故の原因は小動物が導体部に触れて短絡し、電源やプール冷却機能を喪失したため電源の多重化及び小動物対策等の信頼性向上対策を実施。
  - ・ 通報連絡、公表に関する原因調査・対策の検討を実施。
  - ・ 原子炉注水設備等の重要設備に対する信頼性向上対策及び早期復旧対策の検討を実施した。

●現地調査

- 仮設3／4号 M／C（A）
  - ・ 短絡した5Aユニット、5Aユニット上面の端子部近傍のアーク痕、仮設3／4号M／C（A）内部のネズミの死骸、5Aユニット以外に異常がないことについて確認した。

○共用プール 仮設P/C

- ・共用プール仮設P/Cの現物確認、予備変M/Cから共用プール仮設P/Cへ電源接続状況を確認した。

○4号機使用済燃料プール代替冷却設備 ○プロセス建屋 常用M/C

- ・プロセス建屋常用M/Cから4号機SFP代替冷却設備へ受電元変更工事が正常に実施されたこと及び復旧状況を確認した。

○プロセス建屋 後備M/C

- ・プロセス建屋常用M/Cの3A、4A、5A遮断器の確認及びプロセス建屋常用M/Cから4号SFP代替冷却設備への受電元変更工事が正常に実施されたことを確認した。

○1・2号使用済燃料プール 電源切替盤

- ・電圧低下の影響で停電した電源・切替盤の現物確認を実施した。

○仮設ディーゼル発電機

- ・仮設ディーゼル発電機の保全状況の確認をした。

○乾式キャスク仮保管設備

- ・乾式キャスク一時保管設備の状況の確認をした。

○多核種除去設備

- ・ホット試験の進捗状況を確認した。

○海側遮水壁の設置

- ・工事の進捗状況を確認した。

●協議会委員のコメント・質問（電源設備・遠隔監視関係）

○岡嶋委員

- ・停電の直接原因を調べ、それに対応するだけではなく、工事を行うにあたり、起こりうる事象を想定し、それに対してどのような対策がとられていたのか、そのような対策がなされていたか、が重要である。その説明がない。
- ・停電により監視カメラが見えなくなったとあるが、この前の事故の反省で、監視装置は非常に重要だと言うことが分かっているのに、停電が発生した場合などを想定とした対策がまったくなされていない、その考え方が問題。
- ・今後、信頼性向上対策を行っていく上で、事前の対策をしっかりと行うべき。

○兼本委員

- ・トラブルが発生した際の判断の迅速化、そういった手順をしっかりとすべき。情報開示についても事前の準備がないと迅速化と正確さの両立は難しい。
- ・使用済燃料プールの冷却には時間的余裕があるというのは専門家ならば分かるが、そうでない人にとっては、復旧の目処などの情報がないと不安となる。そういった意味でも情報提供は大事である。

○高坂専門員

- ・工事の前の認識が十分でなかったのが今回の原因と思われる。仮設の電源を確保するという事は本来の多重化を殺した危険な状態。
- ・使用済燃料プールは、燃料があること自体危険だと思っている人もいる。時間的余

裕があるということだが、重要な設備であると認識し、緊急性の位置づけを高くしていただきたい。

・多重化の工事において、仮設の電源を確保する際にも、A系、B系を同系統からとるのではなく、多重化を考えた対応を考えるべきである。

●協議会委員のコメント・質問（通報連絡、公表、県民への情報提供に関する事項）

○岡嶋委員

・一番基本の信頼性は、監視システムの信頼性から。このベースの信頼性をどれだけ確保するのかから始まる。

○川内村

・自治体としては通報は受信していた。

・通報で送られてくる情報は、専門的な職員がいなかったため、内容の理解が難しい。その情報に対してどのように対処したらよいか判断出来ない。内容をもう少し分かりやすくしていただきたい。住民に対するアナウンスも防災行政無線では内容を理解していただくのもきびしい。

○長谷川生活環境部長

・通報をいただくにあたり、作業状況とともに、復旧見込みなども報告いただきたい。

○高坂専門員

・公開の基準を定めておくべき。

○いわき市

・通報連絡の内容はわかりやすくお願いしたい。

・作業状況とともに復旧見込みなど安心材料も併せて伝えていただきたい。

・25条通報の中で実際の作業に対して通報が遅れ気味のものがあつた。正確な通報をお願いしたい。

●終了あいさつ

○長谷川生活環境部長

・原因となった配電盤等の復旧完了を現場で確認した。

・県からの申し入れとして、切替盤の設置による電源の二重化等を現場で確認した。

・今後行う、再発防止対策、信頼性向上対策の作業を行うにあたり、事前の準備をしっかりとっていただきたい。

・県民への情報提供は県民の立場にたった迅速かつ分かりやすい情報提供をお願いしたい。

・今後、安全監視協議会で意見等を集約し、必要に応じて問い合わせ、申し入れを行っていく。

以上



○東京電力による説明  
(免震重要棟)



○仮設3/4号M/C



○仮設3/4号M/C



○共用プール仮設P/C



○4号機使用済燃料プール  
代替冷却設備



○プロセス建屋後備M/C



○仮設ディーゼル発電機



○1・2号機使用済燃料  
プール電源切替盤



○免震重要棟遠隔監視シス  
テム



○生活環境部長による挨拶  
(免震重要棟会議室)